

# 信州飯山 綱切橋ボルダー

令和3年5月6日 RCT/K

飯山から中野市へ向かう際に、何時も気になっていたのだが、道路横に蔦に覆われたボルダーを、この春ボルダーとして対象となるか確認してみた。

道路横の岩は意外と大きいが、上はスラブになってしまい、ボルダーとしてはちょっと魅力に欠けていたが、それでもちょっと遊ぶ程度の時間つぶしにはなりそうであった。

さらに上部に幾つか岩が見えたので登って行くと、安定した場所にボルダーが数個まとまって転がっていた。近くには意外と大きな岩が幾つかあり、さらにいろいろと探してみると、大ハンクの下に祠があったり、他にも大きなボルダーが幾つも見つかるが、残念ながら大きすぎたり、下地が悪かったりと、ボルダーの対象としてはいまいちという感じであった。

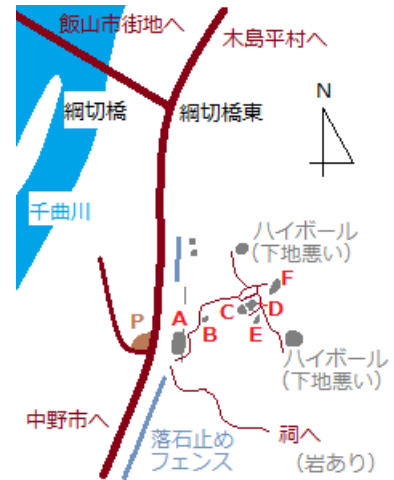
その後、数回掃除とトライに出かけ、一応ボルダーエリアとしてまとまったので、お薦めというものではないが、一応ボルダーがあるという程度で簡単に紹介したい。

岩質は凝灰岩で、大きなもので高さ2m程、脆い部分があり、ホールドが欠ける可能性が高いので、クラッシュパッドは必ず使用したい。

岩質には不安があるが、眼下に千曲川、北陸新幹線、綱切橋と飯山の市街地、遠く斑尾山と、ロケーションは最高である。

注意点としては、この場所は全体的には崩壊地なので、上部からの落石には十分注意が必要で、休憩場所などには特に配慮が必要である。

アクセスは、飯山市の綱切橋を目指して行くと、中野市側から行くと、綱切橋東の交差点手前左側(千曲川側)に数台止められるスペースがある。反対側の山側にA岩が見えるのですぐ分かる。BからF岩へのアプローチは、斜面を登って行くが、夏は藪になると思われる。



## 《課題紹介》

### ●A岩

左:北面  
右:西面&南面  
右下:南東面

道路横にある岩。人目に晒されるので、トライするには、ある意味勇気が必要。

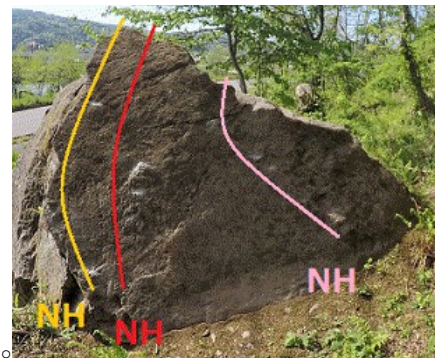
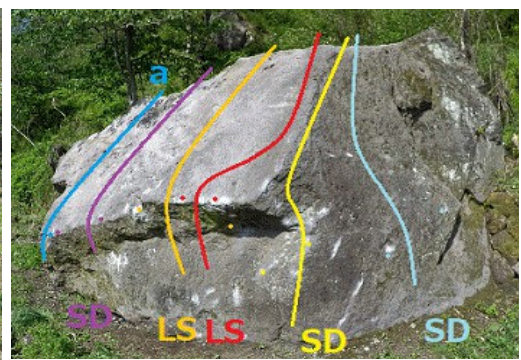
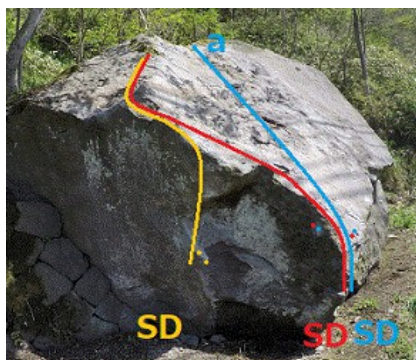
大きい岩だが、スタートさえこなせばあとは易しいので、課題としての面白みはあまりない。

西面のオレンジと赤ラインはSDでは身体が伸び切ってしまう、結局、腰を降ろしてのLSとなった。

西面の赤ラインは上部カンテ使用、黄色ラインはカンテを使用し、身体はカンテの右になる。

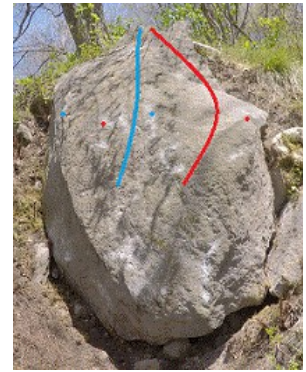
南東面は3本ともNH。オレンジラインはカンテのホールド使用あり。赤ラインはカンテの使用なし。

南面の右上部の岩は、浮いているようなので触らない方が良い。



### ●B岩

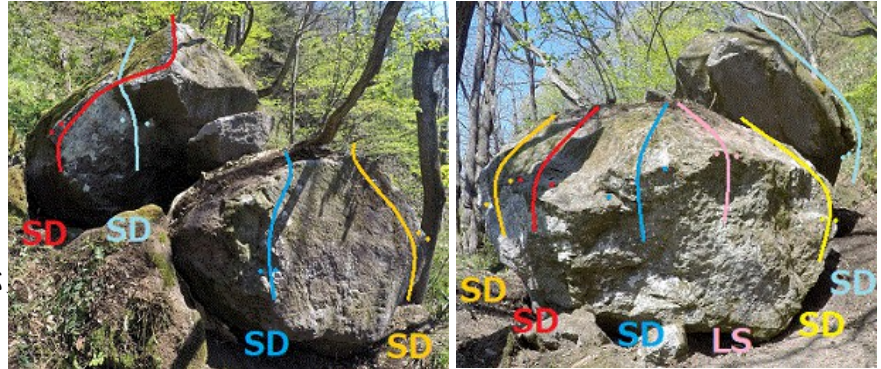
A岩の上に見える岩で、下地が斜面なので、場所はあまり良くない。  
赤、青ラインともに、スタートはスローパーのガバではなく、それより下のカチホールドから。



### ●C&D岩

左:C岩北面(右下)&D岩北面(左上)  
右:C岩南西面(左下)&D岩南面(右上)

B岩から少し登って行くと、斜面が緩くなり、テラス状になるが小さな岩が3つほどまとまっている。

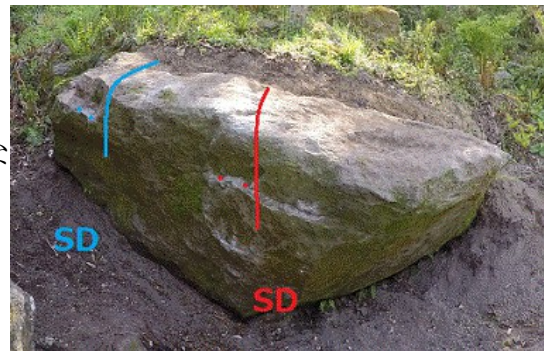


C岩、D岩とも小さい岩で、特に面白い課題はないが、強いて言えば、D岩の赤ライン辺りが楽しめる。下地に岩が飛び出ているので、マットは必ず使用したい。

### ●E岩

C&D岩の南側にある高さの無い岩。上の多量の泥を落としたら、何とかボルダーの対象となった。

小さな岩だが、今後、ハング越えやリップトラヴァースなど、難しい課題ができそうである。

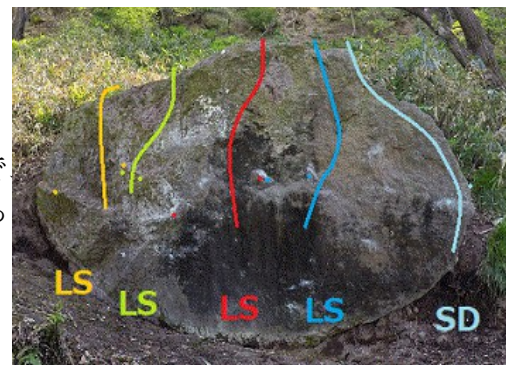


### ●F岩

一番上にある2.5m程の横広の岩で、下地は安定している。思ったほど良いホールドがない上に、トライ中にホールドが欠けることもあり、見た目よりも難しかった。

下を整地したら、スタートホールドが上がってしまったので水色ラインを除き、他の課題はLSで腰を降ろした状態からスタートする。

課題としては、青ラインと赤ラインが面白いが、手数が少ないのが残念。



C、D、E、F岩は雪解けも早く、ドライバーの目を気にすることなくトライできるので、早春にのんびりするのにもいいかもしれない。